

F10-02

教科指導における教員の日常的なICTを支援する ハンドブックの開発

研究の概要

「授業中にICTを活用して指導する能力」は文部科学省が公示している「教員のICT活用指導力」のカテゴリーの一つであり、平成22年度までにすべての教員が身に付けるべきこととされている。またその具体例として、平成21年3月に「教育の情報化に関する手引（第3章；教科指導におけるICT活用）」も公示された。そこで教員が日常的にICTを活用して指導するための指導資料として、ICTを活用した教科の指導事例とそのポイントを整理したハンドブックを作成した。ハンドブックに掲載した指導事例は、小・中・高等学校の研究協力委員の日常的にICTを活用してわかりやすく指導した授業実践を検証し、整理したものである。

キーワード

教員のICT活用指導力、教育の情報化に関する手引、ICT活用授業
実物投影機、フラッシュ型教材、デジタルコンテンツ

○指導資料

「保存版！わかりやすく教えるための、毎日、お気軽、ICT活用！ハンドブック」

- ・ 表紙・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・目次
- 1 実物投影機で「指示」を大きく映す・・・・・・・・（B-2）課題をつかませる
- 2 実物投影機で「動き」を大きく映す・・・・・・・・（B-2）課題をつかませる
- 3 実物投影機で「スモールステップ」で大きく映す・・（B-3）わかりやすく説明する
- 4 実物投影機で「書き込みながら」大きく映す・・・・（B-3）わかりやすく説明する
- 5 実物投影機で「部分を隠して」大きく映す・・・・（B-1）興味・関心を高める
- 6 コンピュータで「フラッシュ型教材」を映す・・・・（B-4）知識の定着を図る
- 7 コンピュータで「デジタルコンテンツ」を映す・・（B-3）わかりやすく説明する
- ・ あとがき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・教科指導におけるICT活用の意味

岡山県総合教育センター

指導主事 片山 淳一
小林 朝雄
内野 祐司

教科指導における教員の日常的なICT活用を支援するハンドブックの開発

研究の背景

全ての教員の「授業中にICTを活用して指導する能力」を向上させる必要



教師のICT活用指導力
(B) 授業中にICTを活用して指導する能力

- B-1; 興味・関心を高めるため
- B-2; 課題を明確につかませるため
- B-3; わかりやすく説明したり、思考や理解を深めたりするため
- B-4; 知識の定着を図るためにICT活用

*2008は54.8%の教員が指導可能と回答

教育の情報化に関する手引
(第3章) 教科指導におけるICT活用



「具体的な方法や場面」例

教育の情報化に関する手引

文部科学省

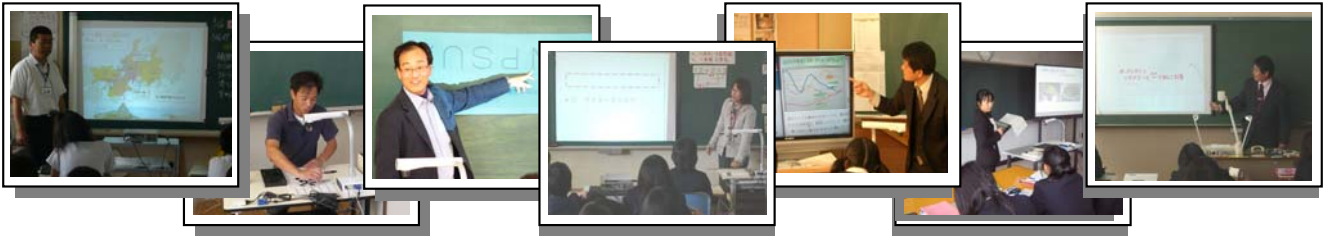
研究の目的

小・中・高等学校の研究協力委員が、日常的にICTを活用してわかりやすく指導した授業の様子を「教師のICT活用指導力」や「教育の情報化に関する手引」を基に検証し、それらの授業事例とそのポイントを整理したハンドブックを作成し、広く県内教員の日常的にICTを活用した授業づくりに貢献する。

研究の手順

● わかりやすく指導するための授業の設計

● ICTを活用した日常的な教科指導



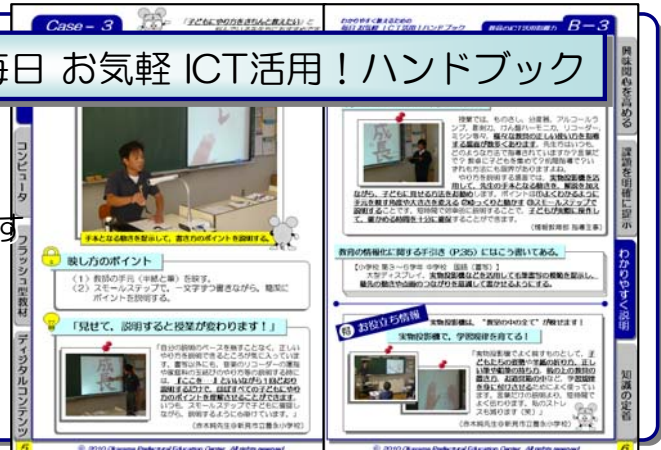
● 授業事例の検証, 整理_ 参考「教師のICT活用指導力」「教育の情報化に関する手引」

- ハンドブックの作成 参考「日常的なICT活用のステップ」「リーフレット開発ルール」
 - 1) 「小学校の教科指導における効果的なICT活用場面の分類 (高橋ほか,2007)」
 - 2) 「ICT活用頻度の低い教員のICT活用を促すリーフレットの開発 (堀田ほか,2009)」

提案

保存版！わかりやすく教えるための毎日 お気軽 ICT活用！ハンドブック

- Case 1 (B-2) “指示” を大きく映す
- Case 2 (B-2) “動き” を大きく映す
- Case 3 (B-3) “スモールステップ” で大きく映す
- Case 4 (B-3) “書き込みながら” 大きく映す
- Case 5 (B-1) “部分を隠して” 大きく映す
- Case 6 (B-4) “フラッシュ型教材” を映す
- Case 7 (B-3) “デジタルコンテンツ” を映す



興味関心を高める
課題を明確に提示
わかりやすく説明
知識の定着